

科目ナンバー	EDU-2-054-j			科目名	教育と社会「教育原理II」(初等)			
教員名	小林 清			開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2	
概要	教職を志す学生に対して①学校現場の諸問題と学校組織、②学校の制度的位置付け、③学校の意思決定、④教師の職能開発と研修、⑤学校経営の諸問題について、理論と制度改革の動向を踏まえ概説する。また、学生主体のグループ討論、意見交換やプレゼンテーションを展開する。							
到達目標	現代の学校教育に関する制度的又は経営的事項について、基礎的な知識を身に付けるとともに、それらに関連する課題を理解する。なお、学校と地域との連携に関する理解及び学校安全への対応に関する基礎的知識も身に付ける。							
「共愛12の力」との対応								
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力		
共生のための知識		自己を理解する力		伝え合う力		○	分析し、思考する力	○
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力			構想し、実行する力	○
グローバル・マインド		主体性		○	関係を構築する力		実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法		テキストの章ごとに授業を展開します。履修学生が各章を分担し、内容の概要をプレゼンテーションします。基本的事項を共有し理解した上で、各自の考えをまとめ、グループディスカッションや意見交換の場を設けながら授業を進めます。また、テキスト内容を発展させ、社会の中でどのようなことが実際に進行しているのかを発表する機会を設け、教育に関連する時事問題に関心を広げられるよう授業を構成します。						
アクティブラーニング		○	サービスラーニング			課題解決型学修		○
受講条件 前提科目		初等の教職を目指す人の必修科目です。						
アセスメントポリシー及び評価方法		授業への参加や期末試験との総合評価評価の観点は以下の通りです。①現在の学校教育に関する制度的又は経営的事項について基礎的な知識を理解できたか。②教育をめぐる様々な動向や課題に対して、理論的に考えをまとめることができたか。③内容を的確にまとめ、わかりやすくプレゼンをすることができたか。④授業内容から課題を設定し、考察することができるか。						
教材		小川正人『現代の教育改革と教育行政』日本放送出版協会、2010年						
参考図書		小川正人『日本の教育改革』日本放送出版協会、2015年天笠茂『学校経営の戦略と手法』ぎょうせい、2006年志水宏吉編『「力のある学校」の探求』大阪大学出版会、2013年その他適宜、参考文献を紹介したり、資料を配付したりします。						
内容・スケジュール								
1週目								
授業学修内容		授業ガイダンス、教育行政の展開と教育行政研究授業の概要と到達目標、スケジュール、評価方法、授業の約束などシラバスに基づき解説する。また、教育行政とは何か、日本の教育行政の基本原則とその発展を学ぶ。						
授業外学修内容		授業について必要な情報を収集した上で履修手続きをしてほしい。				時間数		
2週目								
授業学修内容		国の教育行政組織と教育政策過程国の教育政策過程の構造やその特徴、問題等を学ぶ。						
授業外学修内容		補助金、負担金、交付金、ドント方式について事前に調べる。				時間数	3	
3週目								
授業学修内容		国の教育法令の構成と原理国の教育政策や執行に係わる教育法令に関する基礎的知識を学ぶ。						
授業外学修内容		改正教育基本法に基づく教育振興基本計画の内容について事前に調べる。				時間数	3	
4週目								
授業学修内容		分権改革による国と自治体の教育行政改革2000年以降の地方分権改革によってどのように教育行政制度が変わったのか学ぶ。						
授業外学修内容		地方分権改革により進んでいる教育の「政治化」の功罪についてまとめ、自分の考えをまとめる。				時間数	3	
5週目								

授業学修内容	地方自治体の教育行政組織としくみ教育委員会制度について学ぶ。また、教育委員会制度の問題と改革課題について考える。		
授業外学修内容	教育委員会制度の長所と短所に関する議論を踏まえ、近年における教育委員会制度の改廃論議について自分の考えをまとめる。	時間数	3
6週目			
授業学修内容	教育課程の行政としくみ児童生徒に教授する教育内容を誰がどのように編成し管理するかという教育課程行政の法政や仕組みを学ぶ。		
授業外学修内容	最高裁「学力調査旭川事件判決」について調べ、どのような論点があったのか理解した上で、自分なりの考えをまとめる。	時間数	3
7週目			
授業学修内容	教科書の行政としくみ教科書の作成、発行、採択等といった教科書に関する行政上の仕組みと問題点等を学ぶ。		
授業外学修内容	教科書検定制度をめぐる論点と議論を整理し、教科書検定制度について自分なりの考えをまとめる。	時間数	3
8週目			
授業学修内容	学校と保護者・子どもの法的地位学校と保護者・子ども間の権利義務関係について学ぶ。		
授業外学修内容	「学校部分社会論」の議論を踏まえ、校則について自分なりの考えをまとめる。	時間数	3
9週目			
授業学修内容	教育の機会均等保障と教育費負担問題教育費負担の実情と経済的困窮家庭への教育支援の現状や問題点を学ぶ。		
授業外学修内容	就学前教育と高等教育の無償化議論を踏まえ、どちらを先行して行うべきか、自分なりの考えをまとめる。	時間数	3
10週目			
授業学修内容	学校の組織・運営・学校経営と学校評価：チーム学校づくり今日の学校組織運営の特徴を学び、どのような見直しが求められているか考える。		
授業外学修内容	中教審答申「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について(答申)」(平成27年12月)を読んで、その内容について自分の考えをまとめる。(文部科学省ホームページ参照)	時間数	3
11週目			
授業学修内容	中教審答申「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について(答申)」(平成27年12月)を読んで、その内容について自分の考えをまとめる。(文部科学省ホームページ参照)		
授業外学修内容	いわゆる「指導力不足」教員の人事上の扱いや仕組みや手続きについて関係法令の条文を調べ、その功罪について自分の考えをまとめる。	時間数	3
12週目			
授業学修内容	教員の勤務問題と業務改善の課題日本の教員に顕著である膨大な超過勤務の実態と、なぜ、そうした超過勤務が生じるのか日本の学校と教員の勤務形態の特徴や問題点について考える。		
授業外学修内容	教員の働き方を改善するためにどのような方策が必要であると思うか、自分の考えをまとめる。	時間数	3
13週目			
授業学修内容	教員給与の政策と法制度改革教員給与の制作と法制度を学び、新しい学校の課題や組織運営に対応した教員給与制度の在り方を考える。		
授業外学修内容	教員評価の結果を給与等の処遇に直接結びつける教員給与の改革について、その功罪をめぐる議論を整理しながら自分の考えをまとめる。	時間数	3
14週目			
授業学修内容	子どもの学力保障と学校改革：開かれた学校づくり学力保証の取り組みとそれに必要とされる施策を学びながら、学力を育む学校づくりについて考える。		
授業外学修内容	「効果のある学校」の主張や理論を整理し、それに対する自分の考えをまとめる。	時間数	3
15週目			
授業学修内容	学校改革をめぐる議論と新たな学校づくりの取り組み：安全な学校づくり保護者・地域住民の学校参加による学校と保護者地域住民との連携協力等による学校改革を学び、新しい学校づくりの課題を考える。		
授業外学修内容	学校管理下における事件、事故や災害の実情を踏まえ、危機管理や事故対応を含む学校安全を確保するために、実際にどんなことが行われているかを調べ	時間数	3

	まとめる。		
上記の授業外学修時間の合計		42	
その他に必要な自習時間		48	

Number	EDU-2-054-j	Subject	Principles of Education II(Elementary)		
Name	小林 清 (Kobayashi Kiyoshi)	Year and Semester	First semester for 2020	Credits	2
Course outline	O The purpose of this lesson is to acquire basic knowledge about administrative or managerial matters concerning school education. You will also acquire basic knowledge on educational policy trends of cooperation between schools and the community and correspondence to school safety.				